

III 調查結果

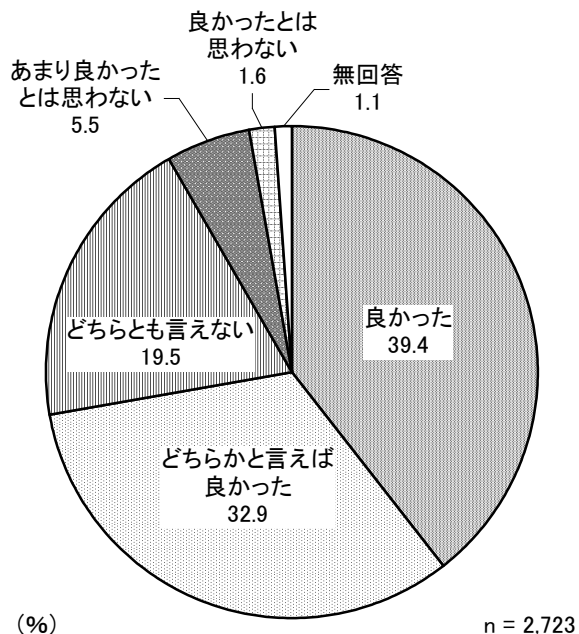
1. 定住意向

(1) 八王子市に住んで良かったと思うか

◇《良かった》が7割強

問1 あなたは、八王子市に住んで良かったと思いますか。(○は1つだけ)

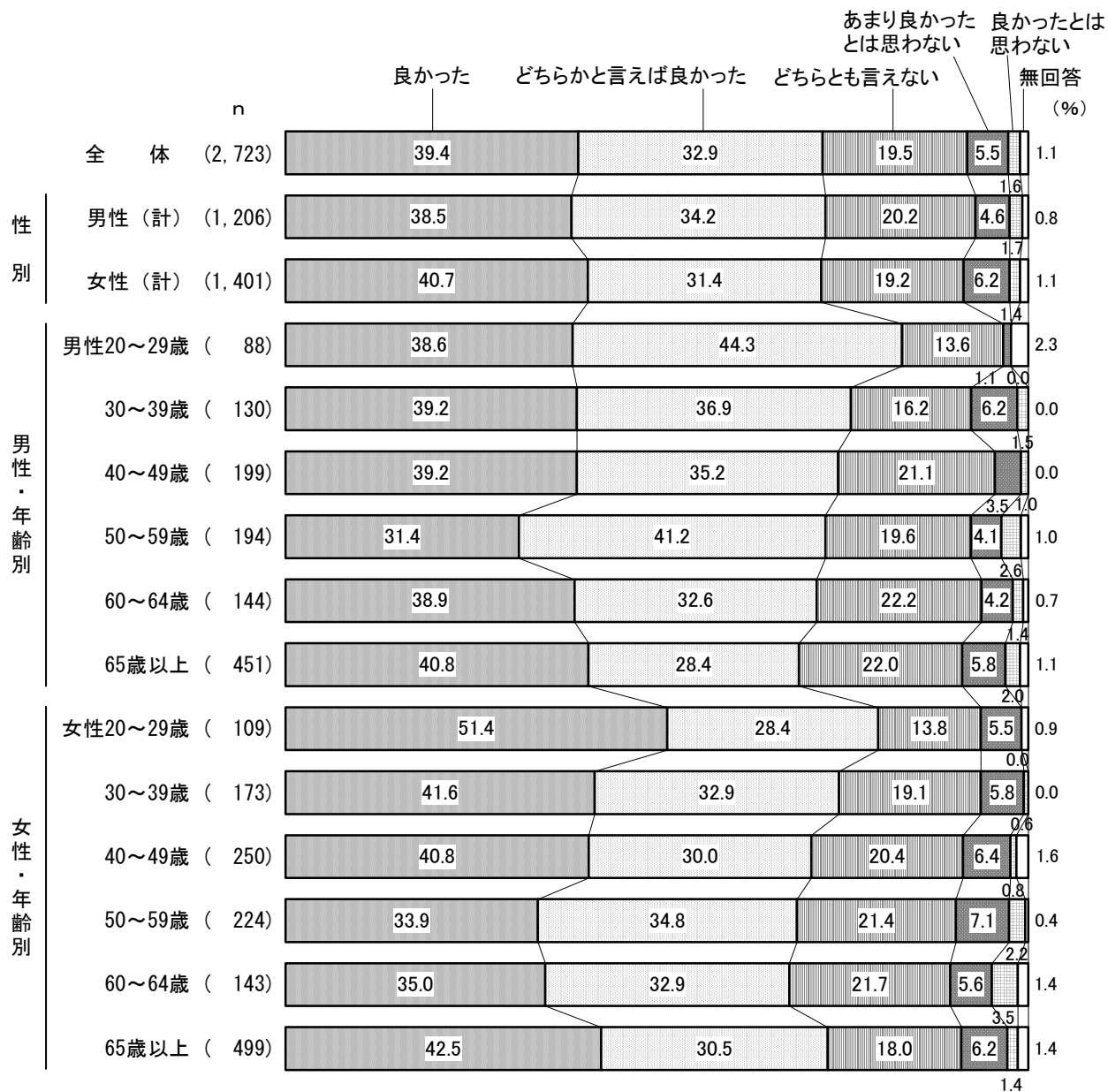
図1-1-1 八王子市に住んで良かったと思うかー全体



八王子市に住んで良かったと思うか聞いたところ、「良かった」(39.4%)と「どちらかと言えば良かった」(32.9%)を合わせた《良かった》(72.3%)は7割強となっている。「どちらとも言えない」(19.5%)は2割弱で、「あまり良かったとは思わない」(5.5%)と「良かったとは思わない」(1.6%)を合わせた《良かったとは思わない》(7.1%)は1割近くとなっている。

(図1-1-1)

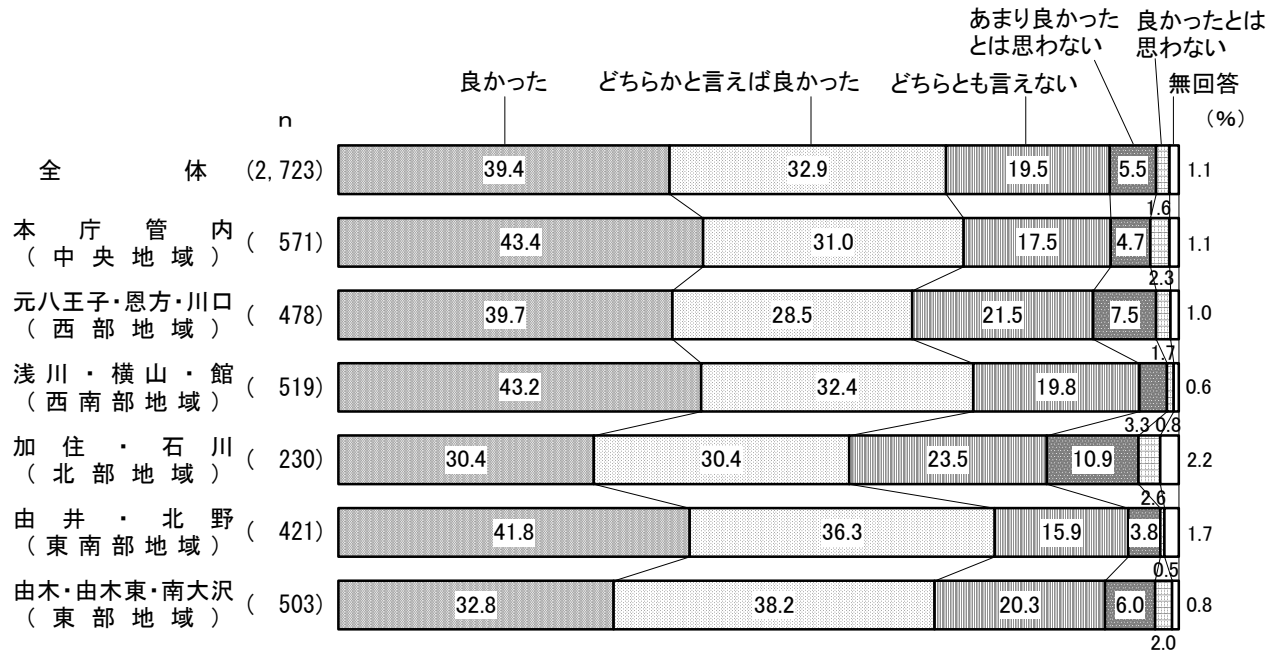
図 1-1-2 八王子市に住んで良かったと思うかー性別・年齢別



性別にみると、大きな傾向の違いはみられない。

性別・年齢別にみると、《良かった》は男性20~29歳 (82.9%) で8割強、女性20~29歳 (79.8%) で8割弱と多くなっている。(図 1-1-2)

図 1-1-3 八王子市に住んで良かったと思うか—居住地域別



居住地域別にみると、「良かった」は由井・北野（東南部地域）（78.1%）で8割近くと多くなっている。一方、「良かったとは思わない」は加住・石川（北部地域）（13.5%）で1割強と多くなっている。（図1-1-3）

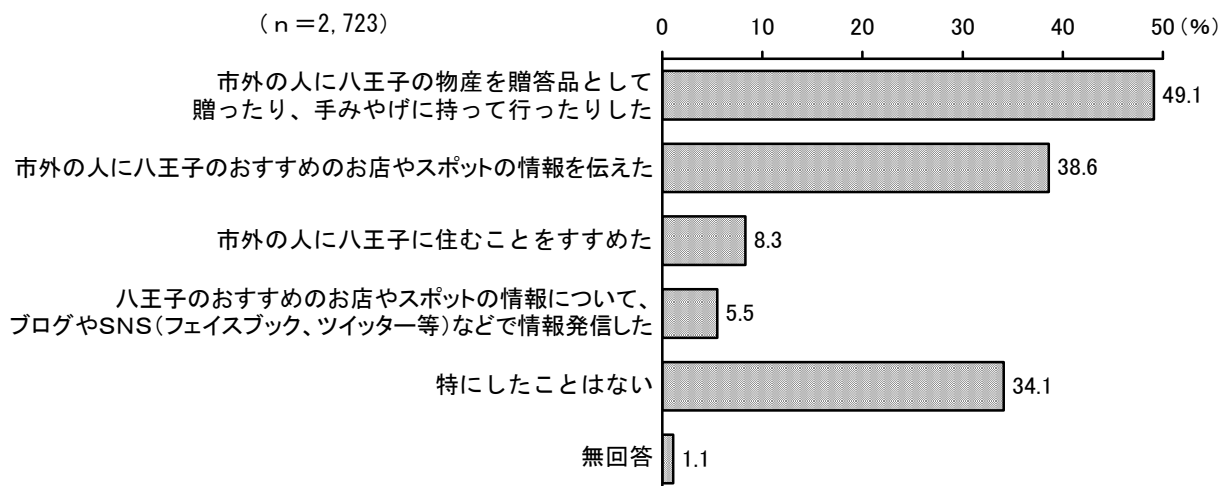
(2) 八王子の魅力を紹介した経験

◇「市外の人に八王子の物産を贈答品として贈ったり、手みやげに持って行ったりした」が5割弱

問2 あなたは、次のような行動をしたことがありますか。したことがあるものすべてに○をしてください。(○はいくつでも)

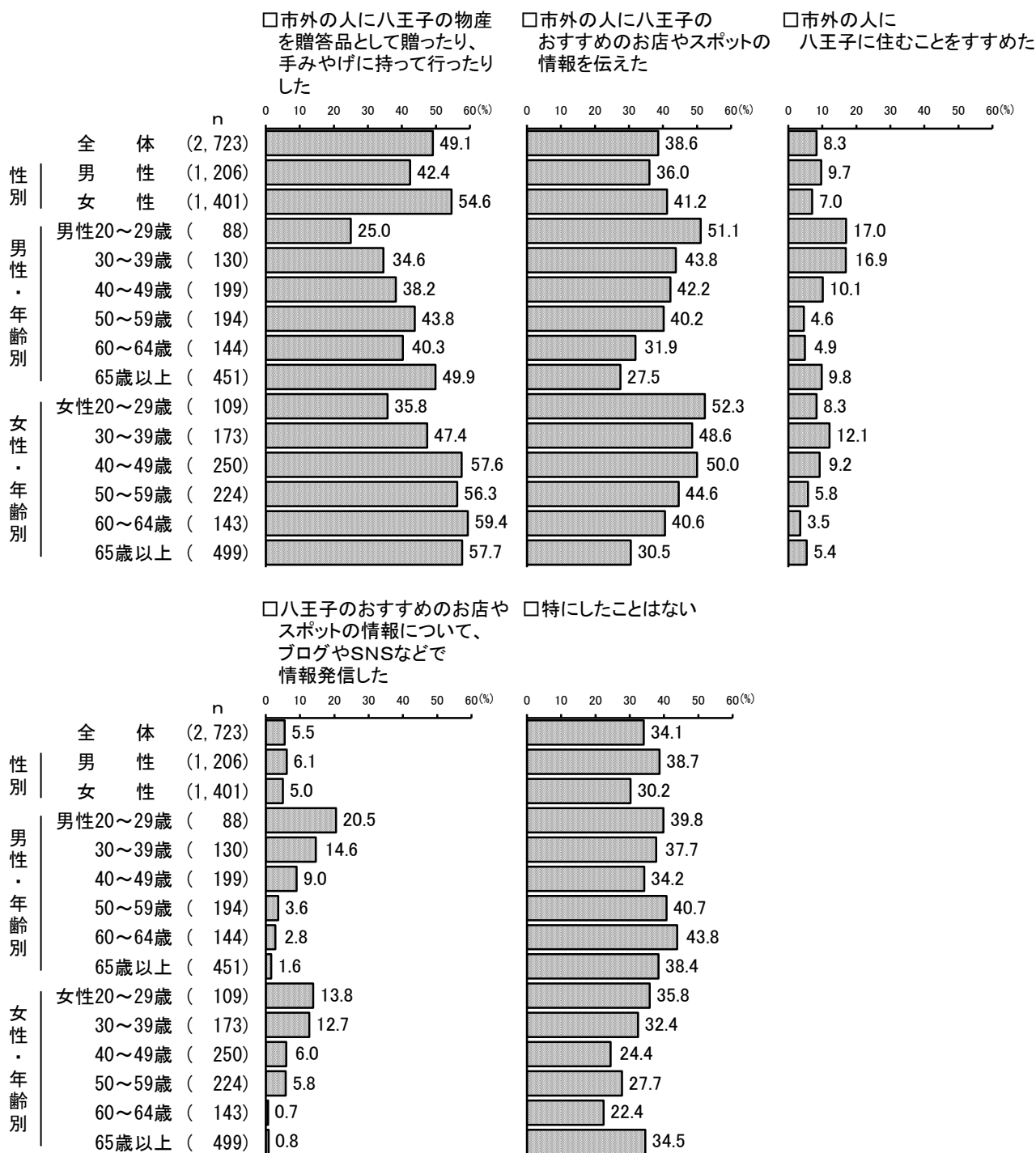
図1-2-1 八王子の魅力を紹介した経験-全体

(n=2,723)



八王子の魅力を紹介する行動をしたことがあるか聞いたところ、「市外の人に八王子の物産を贈答品として贈ったり、手みやげに持って行ったりした」(49.1%)が最も多く5割弱となっている。次いで「市外の人に八王子のおすすめのお店やスポットの情報を伝えた」(38.6%)、「市外の人に八王子に住むことをすすめた」(8.3%)などの順となっている。「特にしたことはない」(34.1%)は3割台半ばとなっている。(図1-2-1)

図1-2-2 八王子の魅力を紹介した経験-性別・年齢別

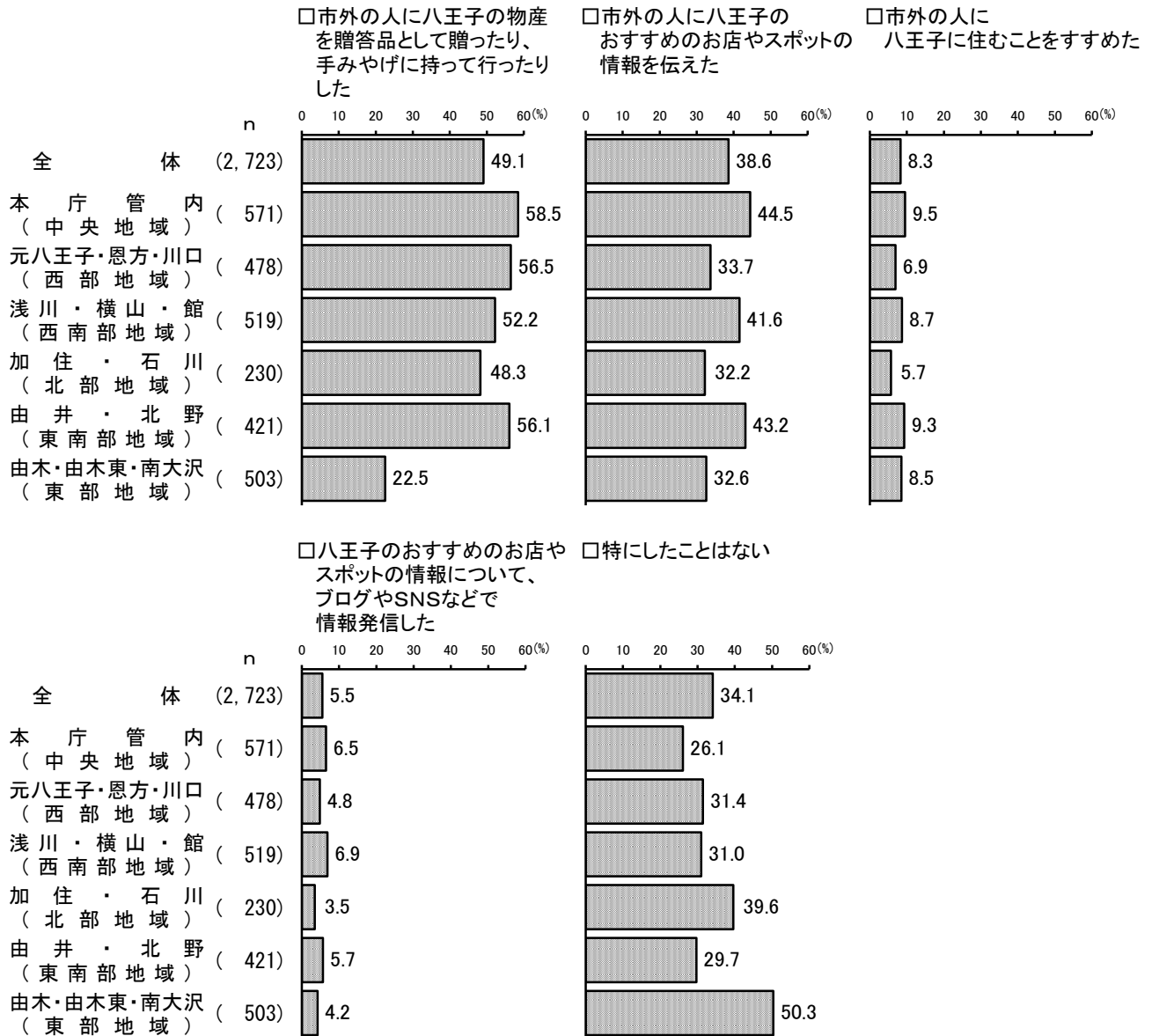


性別にみると、「市外の人に八王子の土産を贈答品として贈ったり、手みやげに持って行ったりした」は女性（54.6%）が男性（42.4%）より12.2ポイント高くなっている。「特にしたことはない」は男性（38.7%）が女性（30.2%）より8.5ポイント高くなっている。

性別・年齢別にみると、「市外の人に八王子の土産を贈答品として贈ったり、手みやげに持って行ったりした」は女性60~64歳（59.4%）で6割弱と多くなっている。「市外の人に八王子のおすすめのお店やスポットの情報を伝えた」は女性20~29歳（52.3%）で最も多く5割強となっている。

(図1-2-2)

図1-2-3 八王子の魅力を紹介した経験—居住地地域別



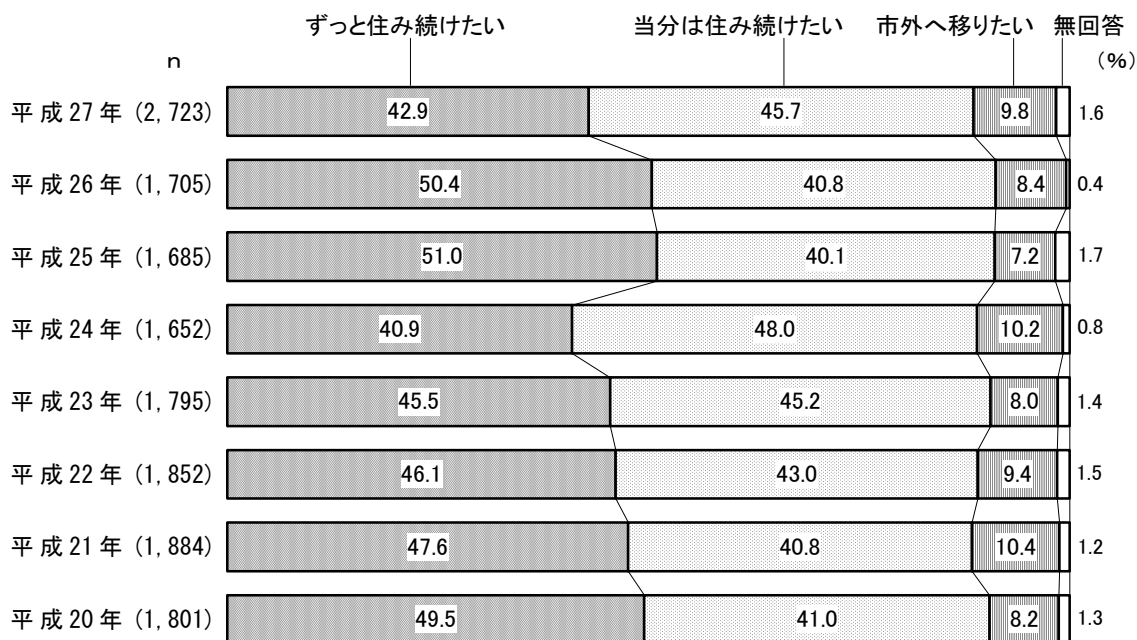
居住地地域別にみると、「市外の人に八王子の物産を贈答品として贈ったり、手みやげに持って行った」は本庁管内（中央地域）（58.5%）で最も多く6割近くとなっている。「市外の人に八王子のおすすめのお店やスポットの情報を伝えた」は本庁管内（中央地域）（44.5%）で4割台半ばと多くなっている。「特にしたことはない」は由木・由木東・南大沢（東部地域）（50.3%）で約5割と多くなっている。（図1-2-3）

(3) 定住意向

◇《住み続けたい》が9割近く

問3 あなたは、これからも八王子市に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

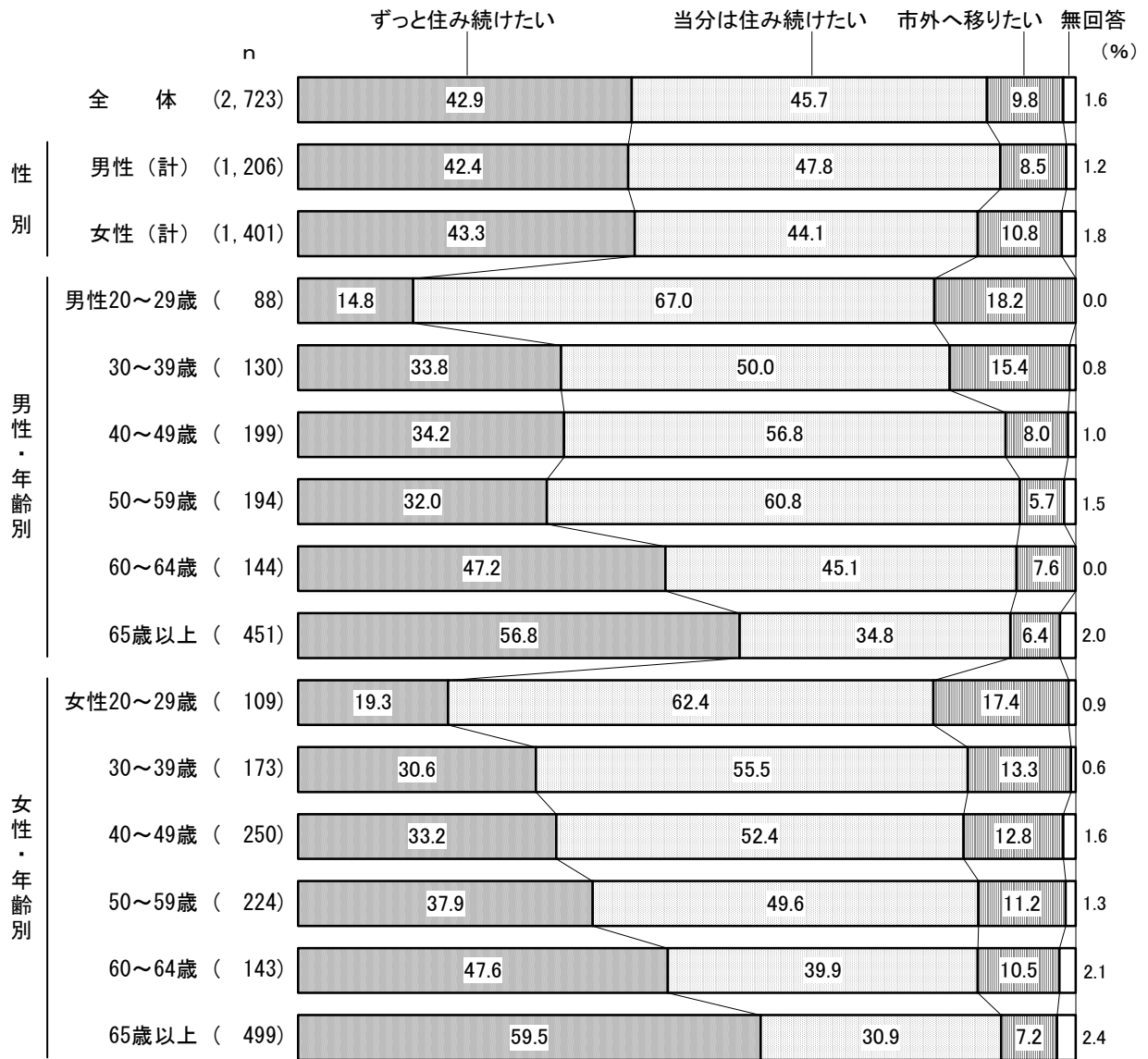
図1-3-1 定住意向-全体、経年比較



これからも八王子市に住み続けたいと思うか聞いたところ、「ずっと住み続けたい」(42.9%)と「当分は住み続けたい」(45.7%)を合わせた《住み続けたい》(88.6%)が9割近くと多くなっている。一方、「市外へ移りたい」(9.8%)は1割弱となっている。

過去の調査と比較すると、《住み続けたい》(88.6%)は平成26年(91.2%)より2.6ポイント減少している。また、「ずっと住み続けたい」(42.9%)は平成26年(50.4%)より7.5ポイント減少している。(図1-3-1)

図1-3-2 定住意向—性別・年齢別

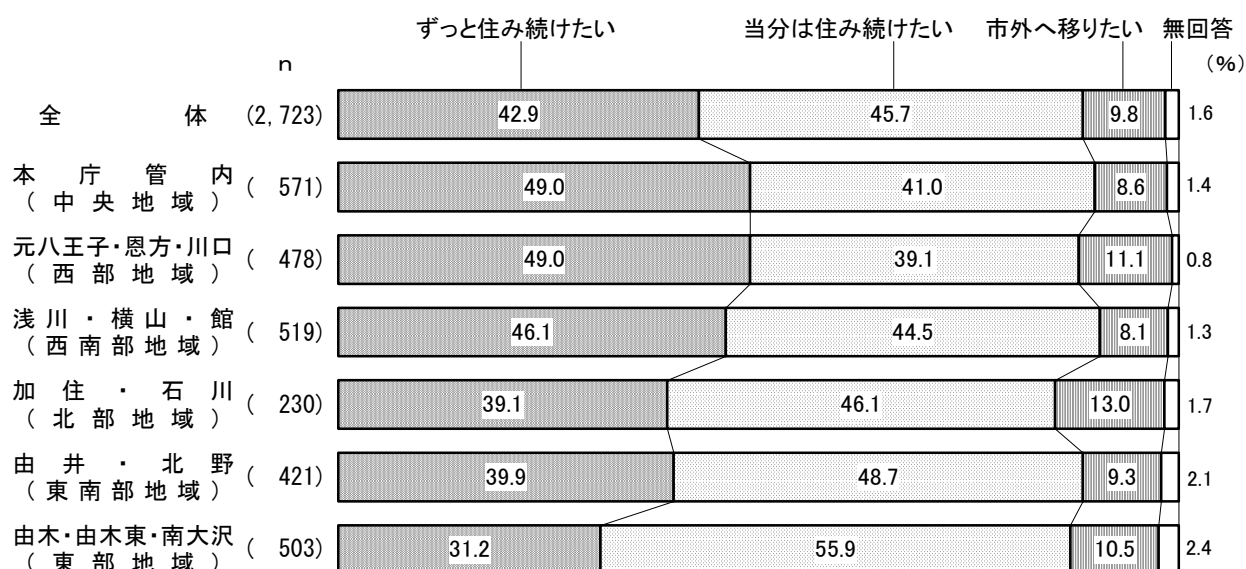


性別にみると、大きな傾向の違いはみられない。

性別・年齢別にみると、「ずっと住みたい」は女性65歳以上（59.5%）で6割弱と多くなっている。一方、「市外へ移りたい」は男性20～29歳（18.2%）で最も多く2割近くとなっている。

(図1-3-2)

図 1-3-3 定住意向－居住地域別



居住地域別にみると、「ずっと住みたい」は本庁管内（中央地域）（49.0%）と元八王子・恩方・川口（西部地域）（49.0%）で5割弱と多くなっている一方、由木・由木東・南大沢（東部地域）（31.2%）では3割強にとどまっている。（図1-3-3）

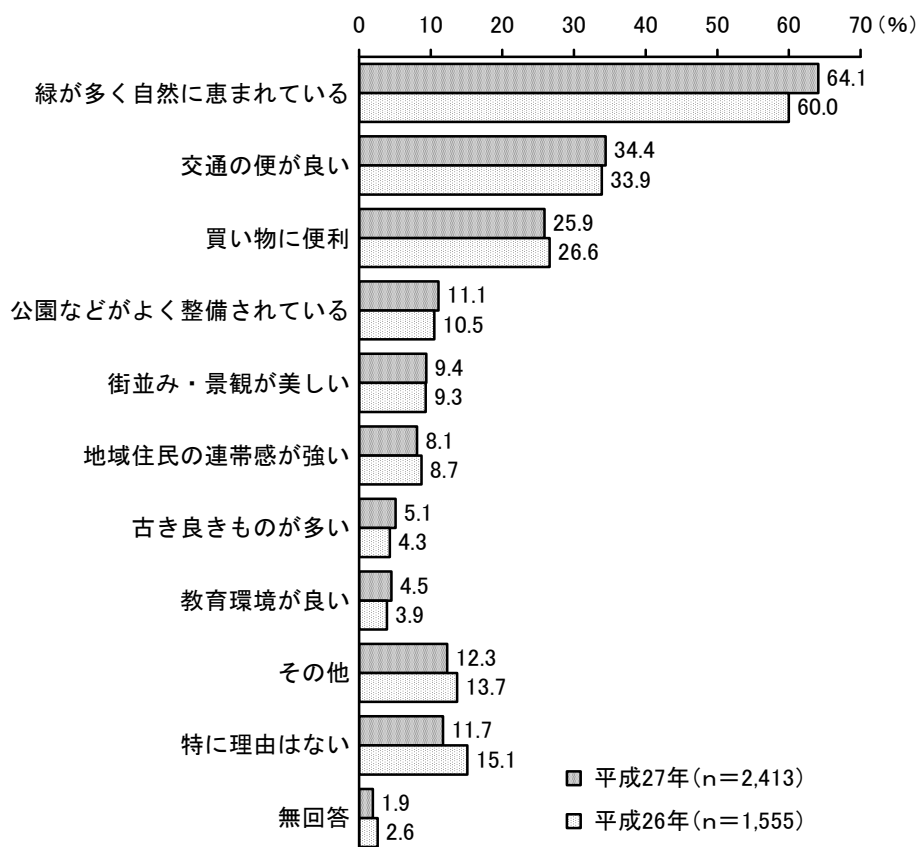
(4) 住み続けたい理由

◇「緑が多く自然に恵まれている」が6割台半ば

(問3で「ずっと住み続けたい」または「当分は住み続けたい」とお答えの方に)

問3-1 住み続けたい主な理由は何ですか。(〇は3つまで)

図1-4-1 住み続けたい理由—全体、経年比較

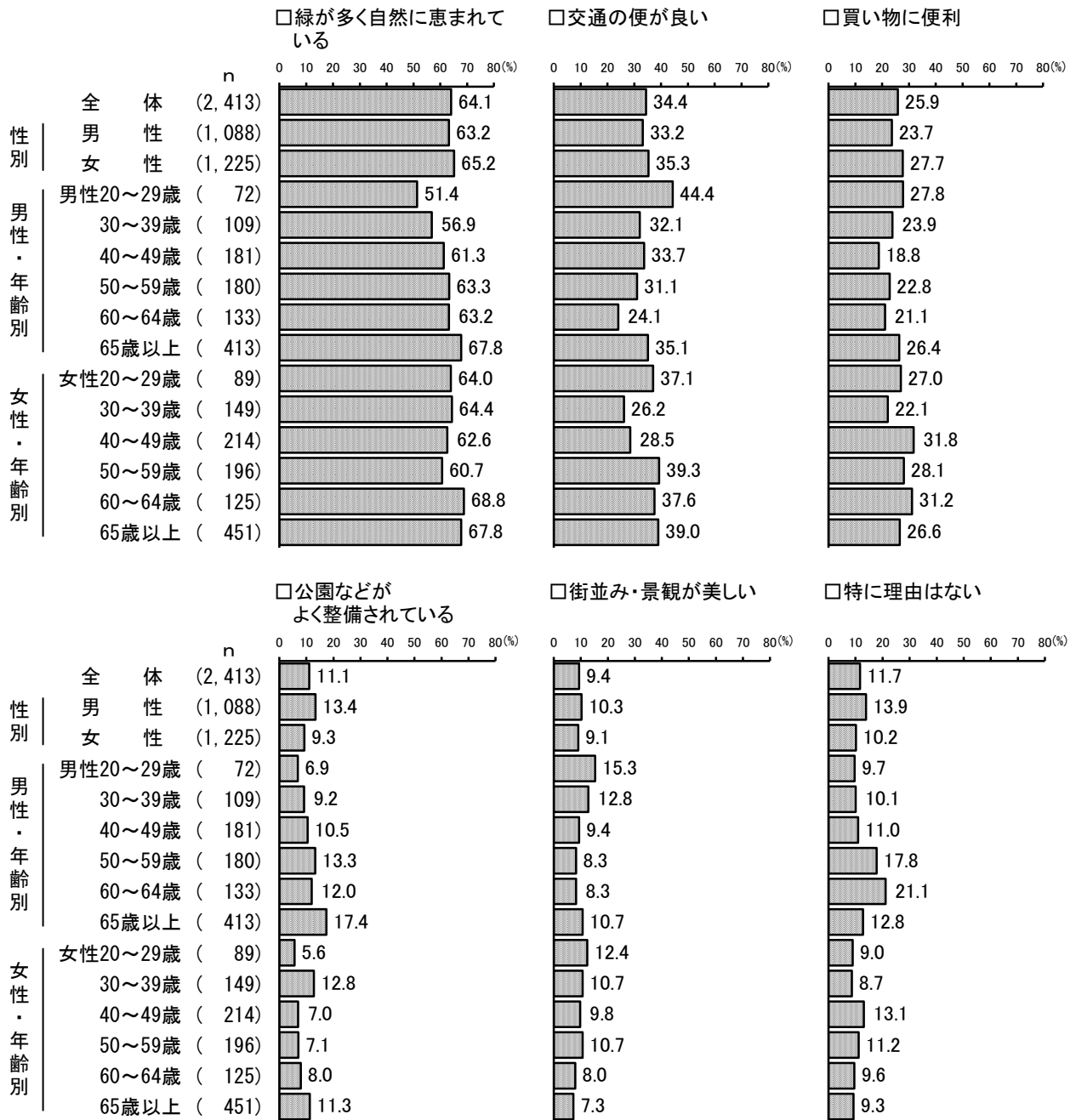


八王子市に「ずっと住み続けたい」または「当分は住み続けたい」と回答した2,413人に、その理由を聞いたところ、「緑が多く自然に恵まれている」(64.1%)が最も多く6割台半ばとなっている。次いで「交通の便が良い」(34.4%)、「買い物に便利」(25.9%)、「公園などがよく整備されている」(11.1%)、「街並み・景観が美しい」(9.4%)などの順となっている。

前回調査と比較すると、「緑が多く自然に恵まれている」(64.1%)は4.1ポイント増加している。

(図1-4-1)

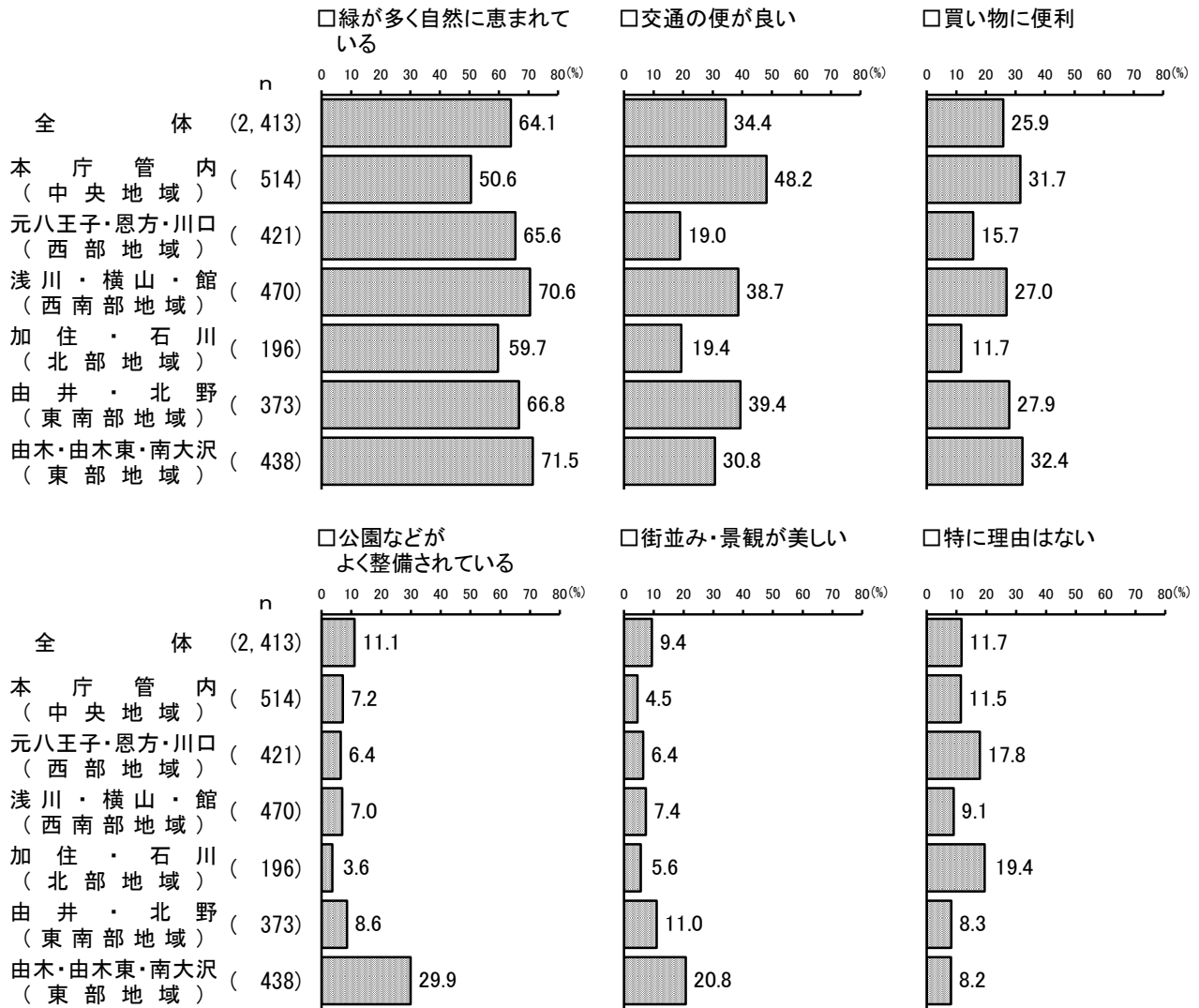
図1-4-2 住みたい理由-性別・年齢別（上位5位+「特に理由はない」）



性別にみると、「公園などがよく整備されている」は男性（13.4%）が女性（9.3%）より4.1ポイント高くなっている。「買い物に便利」は女性（27.7%）が男性（23.7%）より4.0ポイント高くなっている。

性別・年齢別にみると、「緑が多く自然に恵まれている」は女性60~64歳（68.8%）で最も多く7割近くとなっている。「交通の便が良い」は男性20~29歳（44.4%）で4割台半ばと多くとなっている。（図1-4-2）

図1-4-3 住み続けたい理由—居住地域別（上位5位+「特に理由はない」）



居住地域別にみると、「緑が多く自然に恵まれている」は由木・由木東・南大沢（東部地域）（71.5%）で7割強と多くなっている。「交通の便が良い」は本庁管内（中央地域）（48.2%）で5割近くと多くなっている。「買い物に便利」は由木・由木東・南大沢（東部地域）（32.4%）で最も多く3割強となっている。「公園などがよく整備されている」は由木・由木東・南大沢（東部地域）（29.9%）で3割弱と多くなっている。「街並み・景観が美しい」は由木・由木東・南大沢（東部地域）（20.8%）で約2割と多くなっている。（図1-4-3）

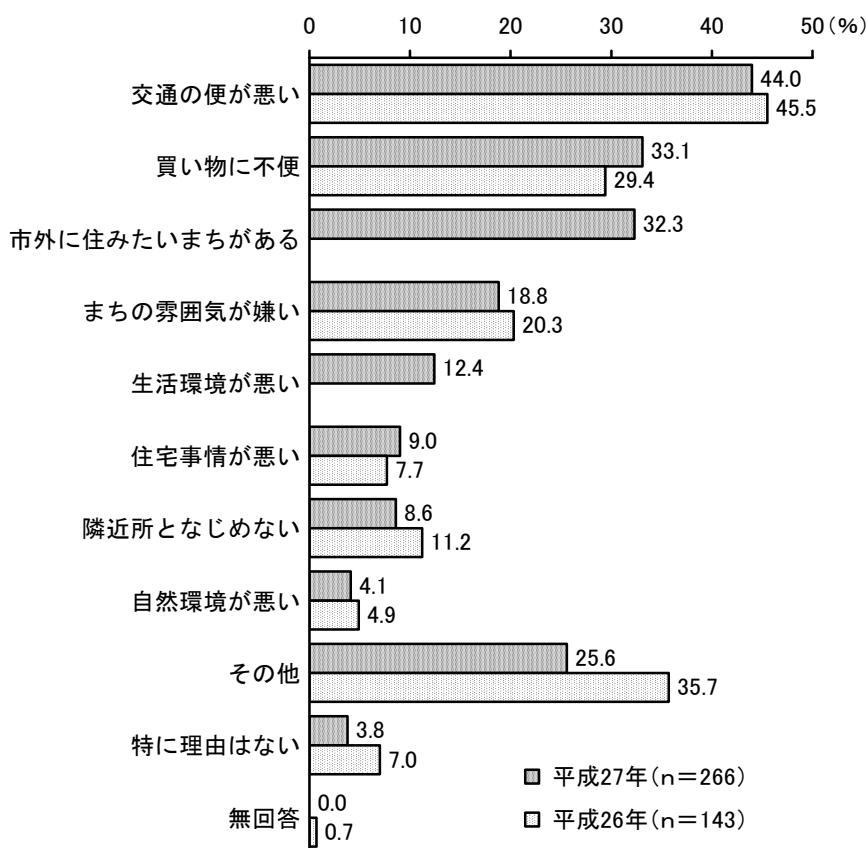
(5) 市外へ移りたい理由

◇「交通の便が悪い」が4割台半ば

(問3で「市外へ移りたい」とお答えの方に)

問3-2 市外へ移りたい主な理由は何ですか。(〇は3つまで)

図1-5-1 市外へ移りたい理由-全体、経年比較

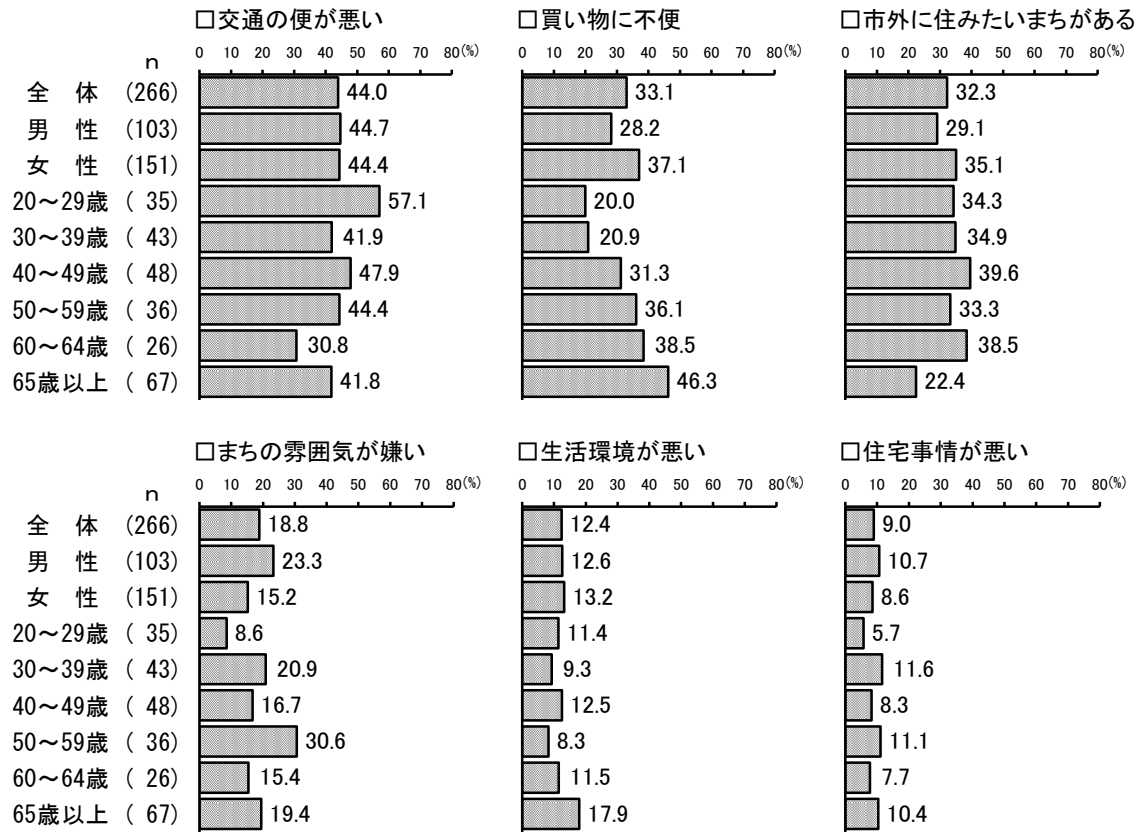


(注)「市外に住みたいまちがある」と「生活環境が悪い」は、今回調査で追加した選択肢である。一方、前回調査の選択肢「この街に愛着がない」(25.9%)と「公害が多い」(2.8%)は、今回調査では選択肢から除いた。

八王子市から「市外へ移りたい」と回答した266人に、その理由を聞いたところ、「交通の便が悪い」(44.0%)が最も多く4割台半ばとなっている。次いで「買い物に不便」(33.1%)、「市外に住みたいまちがある」(32.3%)、「まちの雰囲気が嫌い」(18.8%)、「生活環境が悪い」(12.4%)などの順となっている。

前回調査との比較については、今回調査で一部の選択肢を変更しているため参考にとどまるが、「買い物に不便」(33.1%)は3.7ポイント増加している。(図1-5-1)

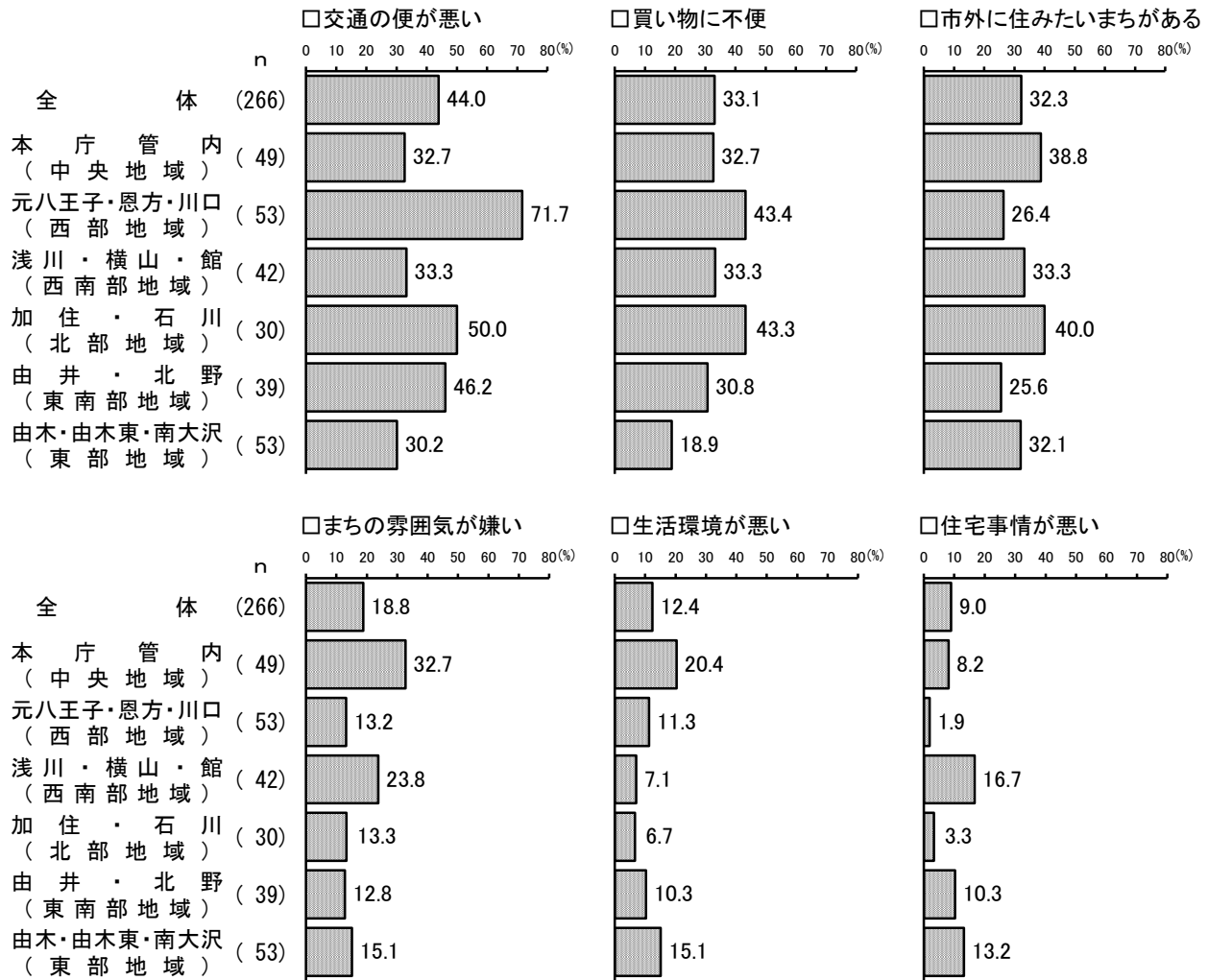
図1-5-2 市外へ移りたい理由－性別・年齢別（上位6位）



性別にみると、「買い物に不便」は女性（37.1%）が男性（28.2%）より8.9ポイント高くなっている。「まちの雰囲気が嫌い」は男性（23.3%）が女性（15.2%）より8.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「交通の便が悪い」は20～29歳（57.1%）で6割近くと多くなっている。「買い物に不便」は高い年代ほど割合が多くなっており、65歳以上（46.3%）で5割近く多くなっている。「まちの雰囲気が嫌い」は50～59歳（30.6%）で約3割と多くなっている。（図1-5-2）

図1-5-3 市外へ移りたい理由—居住地域別（上位6位）



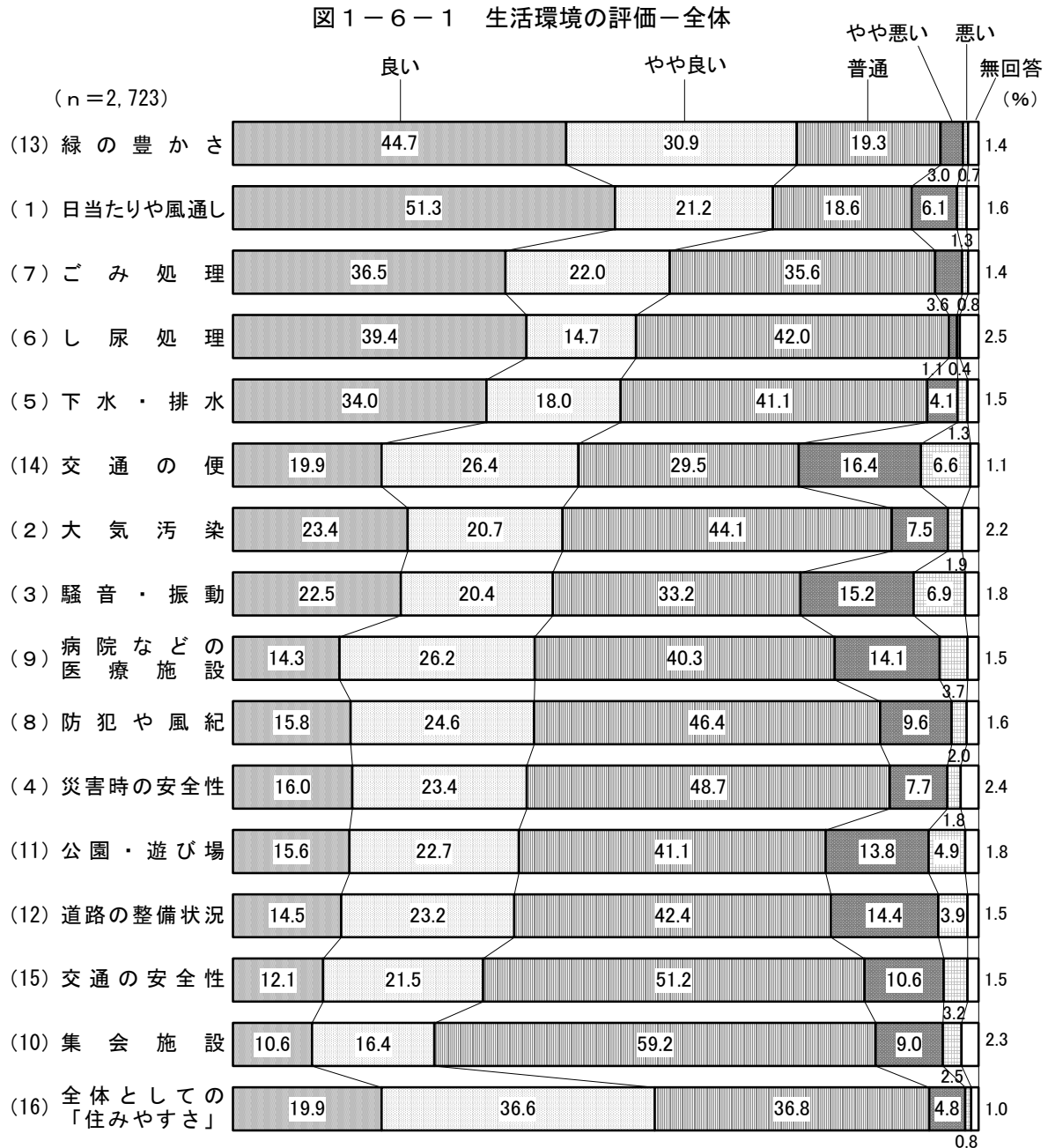
居住地域別にみると、「交通の便が悪い」は元八王子・恩方・川口（西部地域）（71.7%）で7割強と多くなっている。「買い物に不便」は元八王子・恩方・川口（西部地域）（43.4%）、加住・石川（北部地域）（43.3%）の順で多く、4割強となっている。「市外に住みたいまちがある」は加住・石川（北部地域）（40.0%）、本庁管内（中央地域）（38.8%）の順で多くなっている。「まちな雰囲気が嫌い」は本庁管内（中央地域）（32.7%）で3割強と多くなっている。（図1-5-3）

(6) 生活環境の評価

◇《良い》は、「緑の豊かさ」が7割台半ば、「日当たりや風通し」が7割強

問4 あなたは、周囲の生活環境について日頃どのように感じていますか。

(1)～(16)の各項目それぞれについてお答えください。(○はそれぞれ1つ)



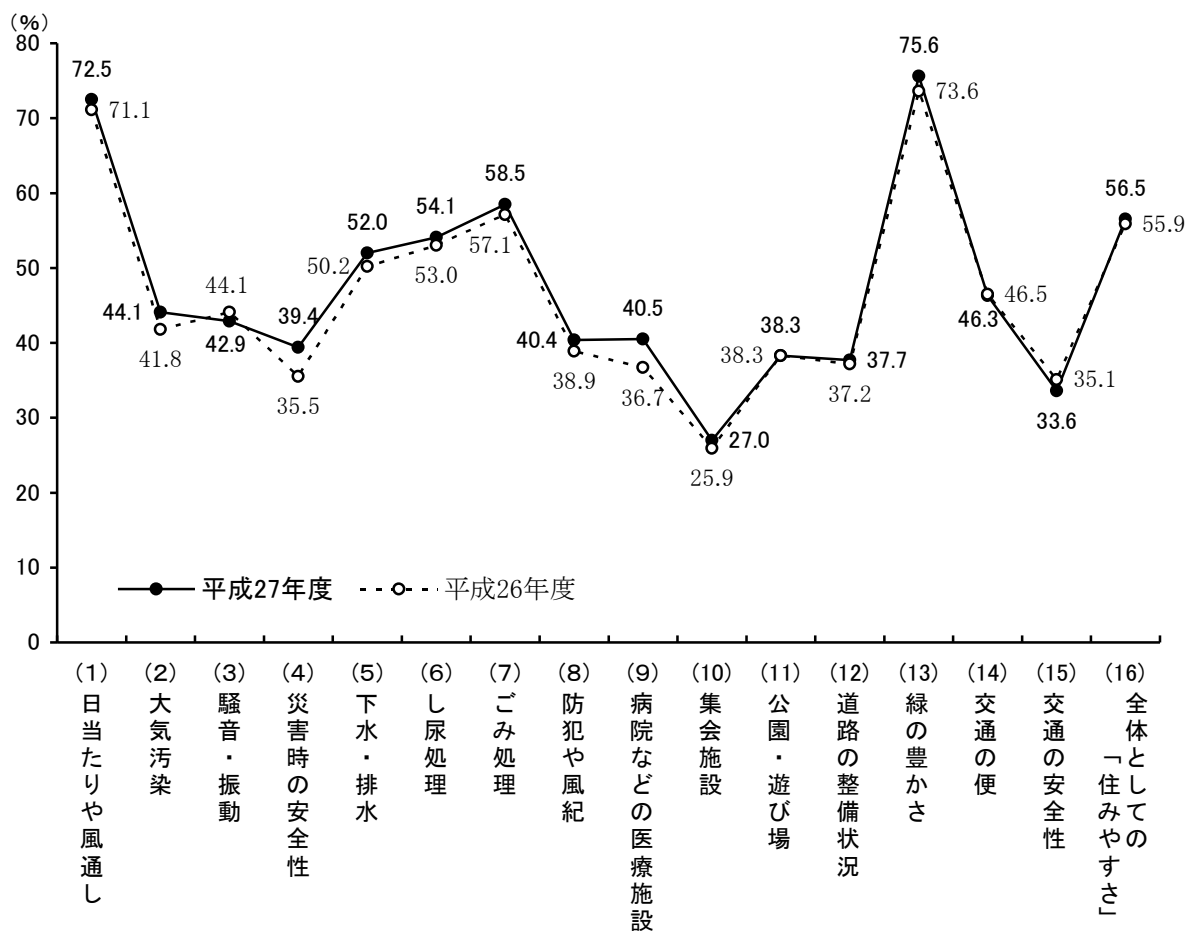
(注) (16) 全体としての「住みやすさ」を除き、「良い」と「やや良い」を合算し、比率の高い順に並べた。

周囲の生活環境について日頃どのように感じているか聞いたところ、「良い」と「やや良い」を合わせた《良い》は、(13) 緑の豊かさ (75.6%) が最も多く7割台半ばとなっている。次いで(1) 日当たりや風通し (72.5%)、(7) ごみ処理 (58.5%) などの順となっている。一方、「やや悪い」と「悪い」を合わせた《悪い》は、(14) 交通の便 (23.0%) が最も多く2割強となっている。

(16) 全体としての「住みやすさ」は、《良い》 (56.5%) が6割近くとなっている。

(図1-6-1)

図 1-6-2 生活環境の評価—経年比較（「良い」＋「やや良い」）



「良い」と「やや良い」を合わせた《良い》について前回調査と比較すると、(4) 災害時の安全性 (39.4%) が3.9ポイント、(9) 病院などの医療施設 (40.5%) が3.8ポイント増加している。

また、前回調査より《良い》の割合が増加したのは12項目で、《良い》の割合が減少したのは(15) 交通の安全性 (1.5ポイント減)、(3) 騒音・振動 (1.2ポイント減)、(14) 交通の便 (0.2ポイント減) の3項目となっている。(11) 公園・遊び場 (38.3%) は前回調査と同じ割合となっている。(図1-6-2)

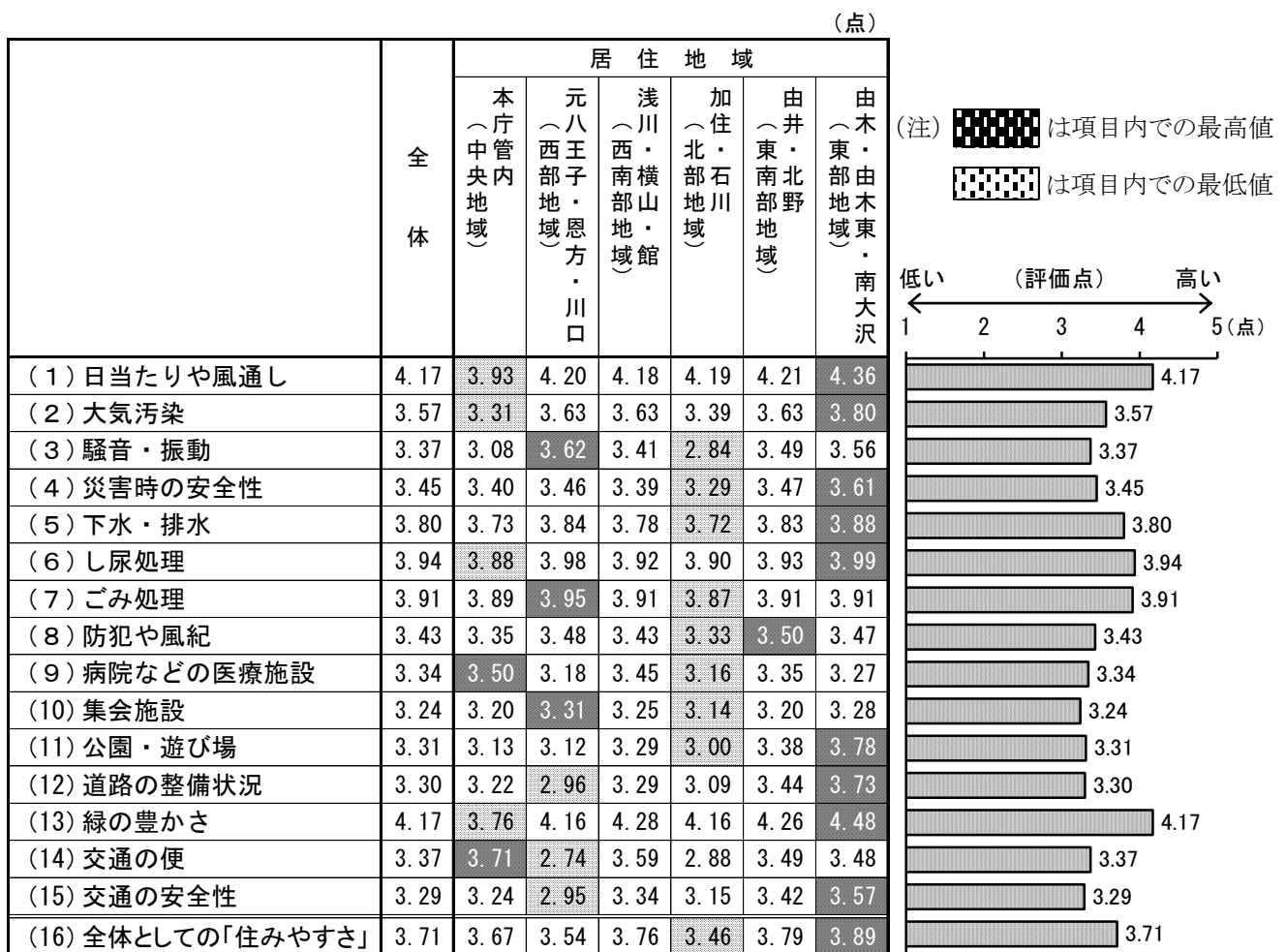
加重平均値（満足度）

生活環境の評価を比率でみるのとは別に、その比率をより明確にするために、加重平均値による数量化を行った。これは、下記の計算式にあるように、数段階の評価に点数を与え、評価点を算出する方法である。

$$\begin{aligned} \text{評価点} = & \text{【(「良い」の回答者数} \times 5 \text{点)} + \text{(「やや良い」の回答者数} \times 4 \text{点)} \\ & + \text{(「普通」の回答者数} \times 3 \text{点)} + \text{(「やや悪い」の回答者数} \times 2 \text{点)} \\ & + \text{(「悪い」の回答者数} \times 1 \text{点)} \text{】} \div \text{回答者数} \end{aligned}$$

この計算方法では、評価点は5.00点から1.00点の間に分布し、中間点の3.00点を境に、5.00点に近くなるほど満足度は高くなり、1.00点に近くなるほど不満足度が高くなる。

図1-6-3 生活環境の評価—加重平均（満足度）



以上の算出方法による評価点の高いものと、低いものの5項目は次のようになっている。

【上 位】

日当たりや風通し (4.17点)
 緑の豊かさ (4.17点)
 し尿処理 (3.94点)
 ごみ処理 (3.91点)
 下水・排水 (3.80点)

【下 位】

集会施設 (3.24点)
 交通の安全性 (3.29点)
 道路の整備状況 (3.30点)
 公園・遊び場 (3.31点)
 病院などの医療施設 (3.34点)

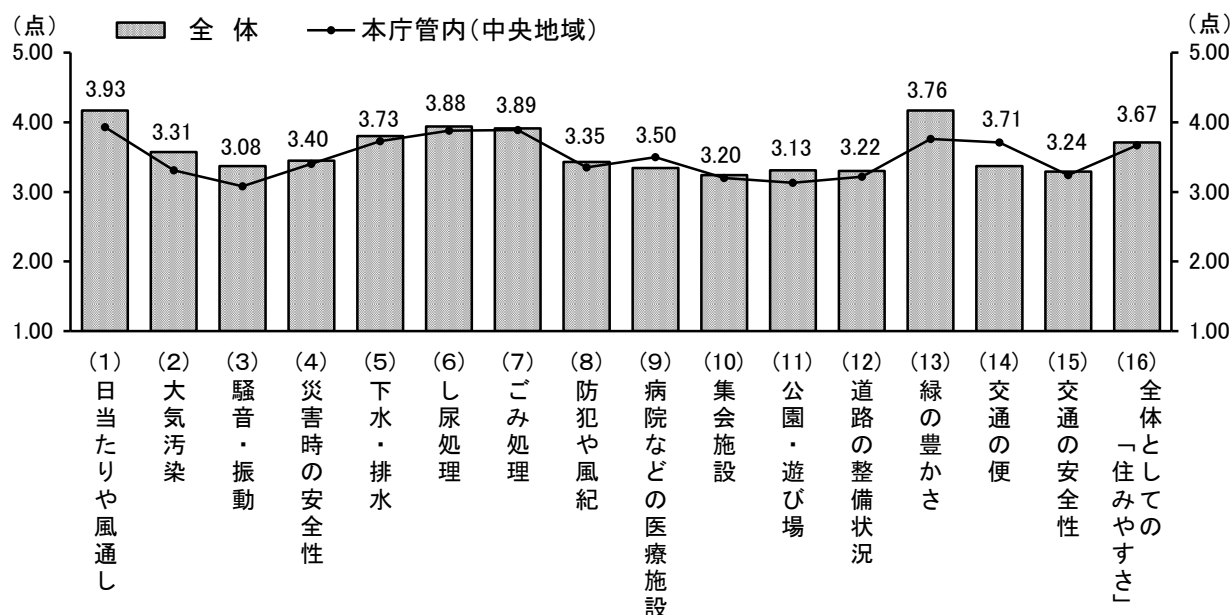
(図1-6-3)

次に、16項目の評価の加重平均値を居住地域ごとに、市全体と対比させてグラフを表示する。

【本庁管内（中央地域）】

市全体より上回っているのは16項目中2項目で、最も差が大きいのは（14）交通の便（+0.34ポイント）となっている。下回っているのは16項目中14項目で、最も差が大きいのは（13）緑の豊かさ（-0.41ポイント）となっている。（図1-6-4）

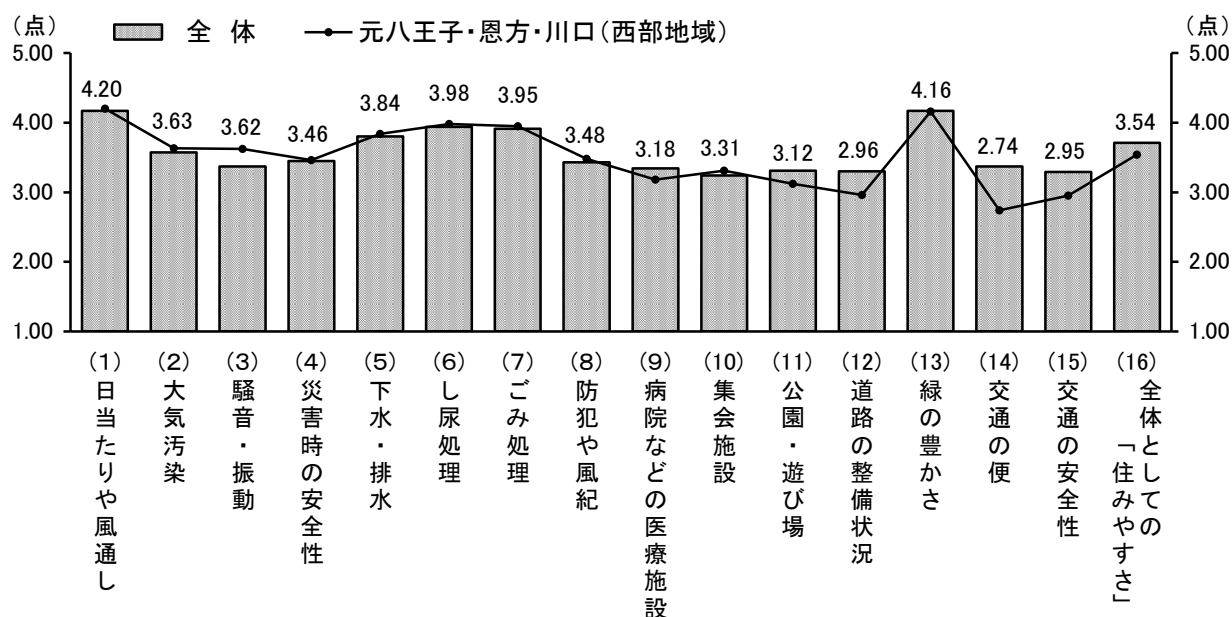
図1-6-4 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「本庁管内（中央地域）」



【元八王子・恩方・川口（西部地域）】

市全体より上回っているのは16項目中9項目で、最も差が大きいのは（3）騒音・振動（+0.25ポイント）となっている。下回っているのは16項目中7項目で、最も差が大きいのは（14）交通の便（-0.63ポイント）となっている。（図1-6-5）

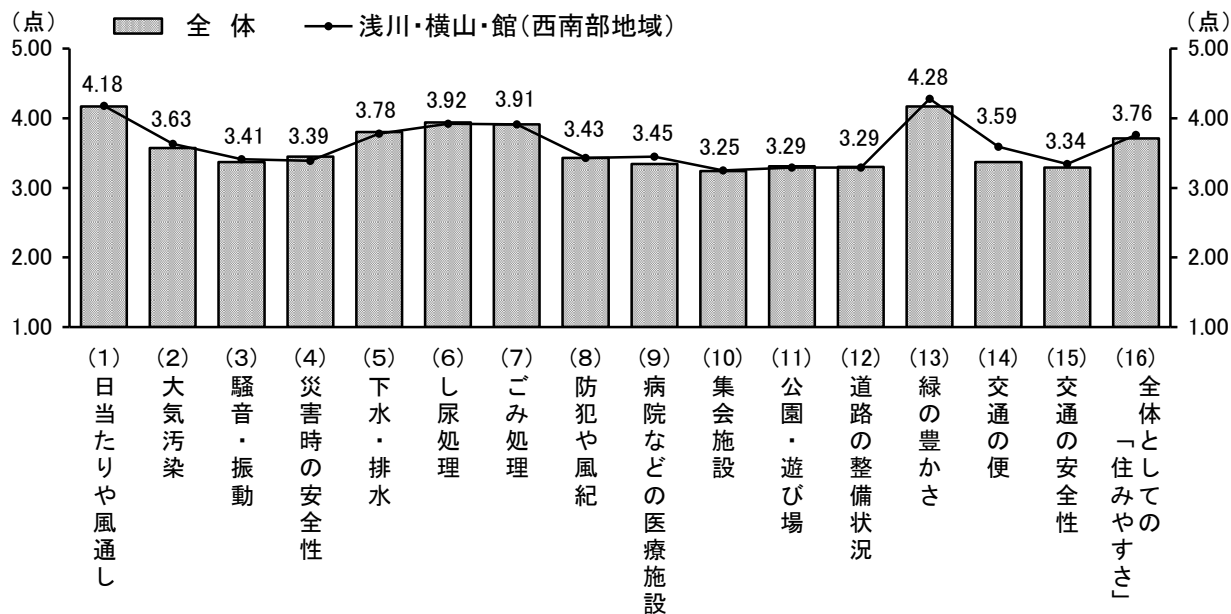
図1-6-5 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「元八王子・恩方・川口（西部地域）」



【浅川・横山・館（西南部地域）】

市全体より上回っているのは16項目中9項目で、最も差が大きいのは（14）交通の便（+0.22ポイント）となっている。下回っているのは16項目中5項目で、最も差が大きいのは（4）災害時の安全性（-0.06ポイント）となっている。（図1-6-6）

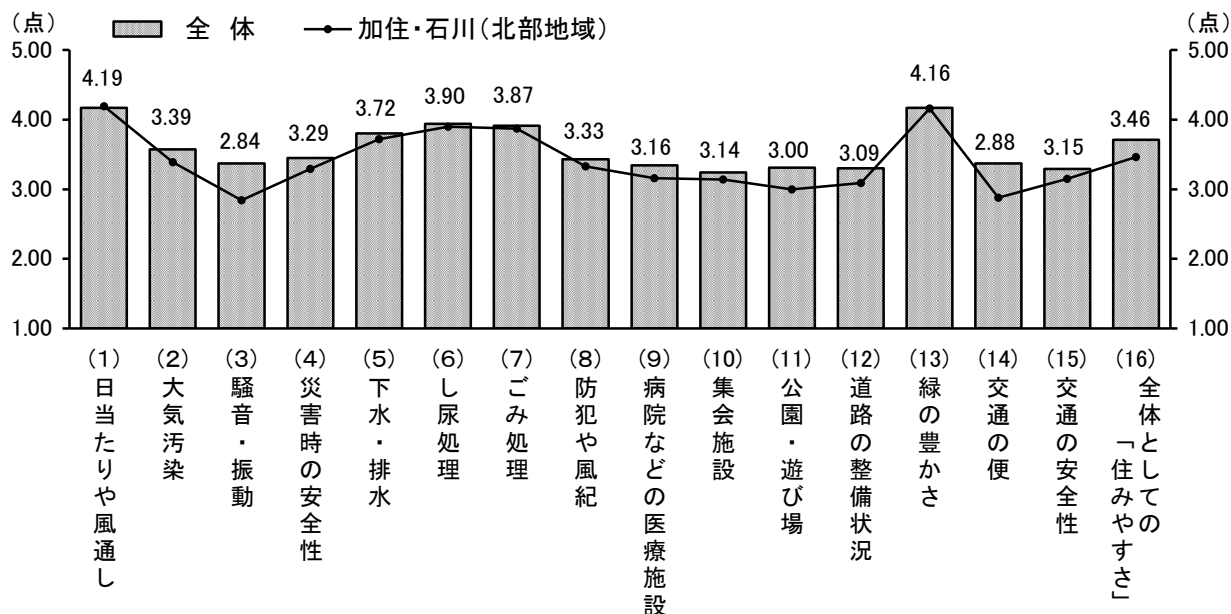
図1-6-6 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「浅川・横山・館（西南部地域）」



【加住・石川（北部地域）】

市全体より上回っているのは、16項目中、（1）日当たりや風通し（+0.02ポイント）の1項目となっている。下回っているのは16項目中15項目で、最も差が大きいのは（3）騒音・振動（-0.53ポイント）となっている。（図1-6-7）

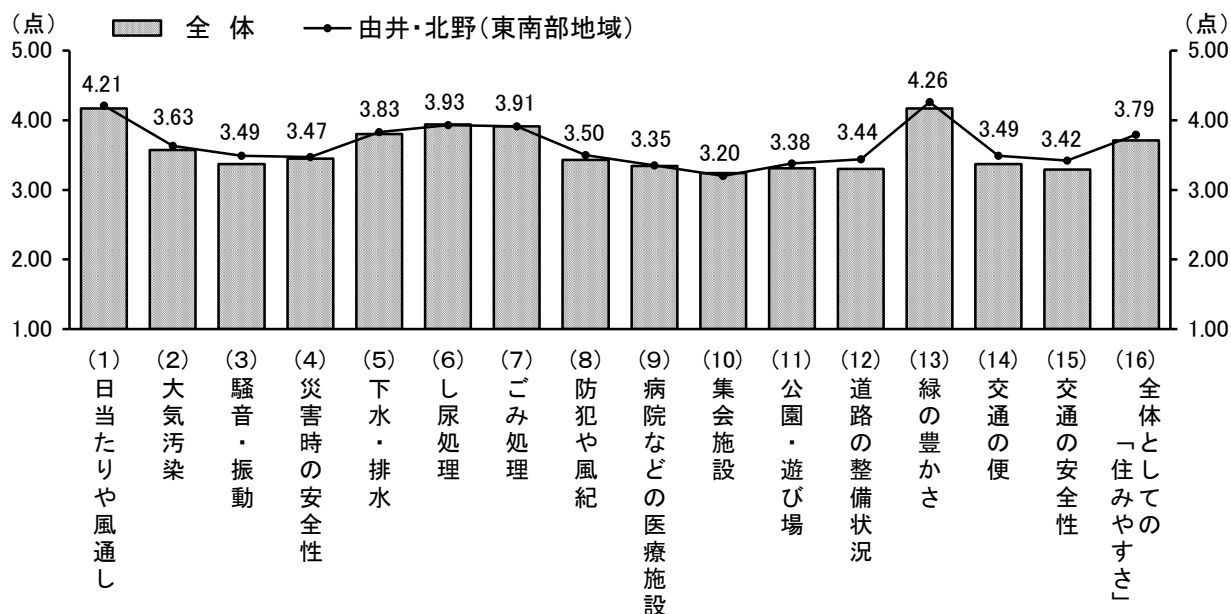
図1-6-7 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「加住・石川（北部地域）」



【由井・北野（東南部地域）】

市全体より上回っているのは16項目中13項目で、最も差が大きいのは(12)道路の整備状況(+0.14ポイント)となっている。下回っているのは16項目中2項目で、最も差が大きいのは(10)集会施設(-0.04ポイント)となっている。(図1-6-8)

図1-6-8 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「由井・北野（東南部地域）」



【由木・由木東・南大沢（東部地域）】

市全体より上回っているのは16項目中14項目で、最も差が大きいのは(11)公園・遊び場(+0.47ポイント)となっている。下回っているのは、16項目中、(9)病院などの医療施設(-0.07ポイント)の1項目となっている。(図1-6-9)

図1-6-9 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「由木・由木東・南大沢（東部地域）」

